

**製品名: Asf1a ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07212**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	23kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ASF1A
別名	ASF1A; CGI-98; HSPC146; Histone chaperone ASF1A; Anti-silencing function protein 1 homolog A; hAsf1; hAsf1a; CCG1-interacting factor A; CIA; hCIA
遺伝子 ID	25842.0
SwissProt ID	Q9Y294
免疫原	抗血清はヒト ASF1A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

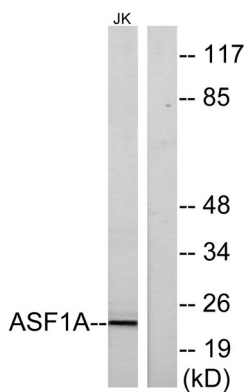
**背景**

この遺伝子は、ヒストンシャペロンタンパク質の H3/H4 ファミリーのメンバーをコードし、酵母の抗サイレンシング機能 1 遺伝子に

類似しています。このタンパク質は、ヌクレオソーム組み立てにおいて機能するヒストン供与体複合体の重要な構成要素です。ヒストン H3 および H4 と相互作用し、DNA 複製および修復中にクロマチン組み立て因子とともに機能します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能:ヌクレオソーム組み立ておよび分解中にヒストンの沈着、ヒストンの交換および除去を促進するヒストンシャペロン。クロマチン組み立て因子 1 (CAF-1) と連携して複製依存的なクロマチン組み立てを促進し、HIRA と連携して複製非依存的なクロマチン組み立てを促進します。老化関連ヘテロクロマチンフォーカス (SAHF) の形成と、効率的な老化関連細胞周期からの離脱に必要です。、PTM:TLK1 および TLK2 によってリン酸化されます。S 期には高度にリン酸化され、M 期には低レベルでリン酸化される。、類似性: ASF1 ファミリーに属する。、サブユニット: ヒストン H3 (ヒストン H3.1 と H3.3 の両方を含む) およびヒストン H4 と相互作用する。CAF-1 複合体の CHAF1A、CHAF1B、RBBP4 サブユニットと相互作用する。CABIN1、HAT1、HIRA、NASP、TAF1、TLK1、TLK2、UBN1 と相互作用する。、組織特異性: 普遍的に発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



ASF1A 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Asf1a ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。